

2007年11月26日

各 位

オリックス証券株式会社

## 「AIG 新成長国ダブルプラス（毎月分配タイプ）」募集開始のお知らせ

### ～新たにエマージング市場銘柄等 6 銘柄同時追加～

オリックス証券株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：北山 久行、以下「オリックス証券」）は、2007年12月3日（月）より、AIG 投信投資顧問株式会社が新規に運用・設定する投資信託「AIG 新成長国ダブルプラス（毎月分配タイプ）（愛称：アメージング・ストーリー）」の募集を開始します。

「AIG 新成長国ダブルプラス（毎月分配タイプ）」は、人気が高い毎月分配タイプの投資信託で、現在注目が高く成長著しいエマージング諸国（新興国）をテーマにしています。新興国の国債等の金利収入や株式の配当、それらの売買益等を毎月分配するという商品で、初めて投資信託をご検討されるお客さまにも分かりやすい内容となっています。

また同時に、エマージング諸国（新興国）をはじめとする株式投資の他に複数の通貨・金利取引を活用して分散投資を行う銘柄や、「行動ファイナンス理論」を活用して日本の株式に投資する銘柄など、今までの国内株式投資型とは違う魅力を持った 6 銘柄も追加します。これで、オリックス証券が取り扱う投資信託は計 56 銘柄となります。

オリックス証券は、今後も投資信託への需要は高まるものと考えています。既に投資信託で資産運用されているお客さまだけでなく、これから資産運用をご検討されるお客さまにとってもご利用いただきやすい銘柄を取り揃えていきたいと考えています。

以上

### <新規取扱銘柄一覧>

#### ■ 新規募集銘柄

- ・AIG 新成長国ダブルプラス(毎月分配タイプ)(愛称:アメージング・ストーリー)

#### ■ 追加取扱銘柄

- ・フィデリティ・スリー・ベーシック・ファンド(愛称:水と大地とエネルギー)
- ・DAIM 中国関連株オープン(愛称:チャイニーズ・エンジェル)
- ・シュローダー・アジア公社債ファンド(愛称:アジアン円舞曲)
- ・GS 日本株・プラス(通貨分散コース)
- ・JPMジャパン・ファンド(愛称:ココロジカル)
- ・インベスコ アジア・インフラ・ファンド

※インベスコ アジア・インフラ・ファンドのみ、2007年12月5日(水)からの開始予定となっています。

銘柄の詳細は別紙「新規取扱銘柄詳細一覧」をご参照ください。

なお、上記銘柄すべてを現在行っている「申込手数料キャッシュバックキャンペーン」の対象とし、期間を2008年1月31日(木)まで延長します。

■ 商号 オリックス証券株式会社

■ 登録番号 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第55号

■ 加入協会 日本証券業協会・社団法人金融先物取引業協会

■ リスク説明 : <http://www.orix-sec.co.jp/support/important/risk/investment.html>

■ 手数料 : <http://www.orix-sec.co.jp/commission/investment/index.html>

銘柄名	設定・運用会社
<b>特 色</b>	
<b>新規募集銘柄</b>	
AIG 新成長国ダブルプラス(毎月分配タイプ) (愛称:アメージング・ストーリー)	AIG 投信投資顧問株式会社
<p>主として新成長国(※)の国債等および新成長国の株式への投資を行い、安定した収益の確保を図るとともに、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。</p> <p>(※)新成長国とは、経済発展段階にあり、また今後さらに経済成長が見込めると AIG 投信投資顧問が判断した国および地域を指します。新成長国は「エマージング諸国」や「新興国」と呼ばれることもあります。</p>	
<b>追加取扱銘柄</b>	
フィデリティ・スリー・ベーシック・ファンド (愛称:水と大地とエネルギー)	フィデリティ投信株式会社
<p>主として世界各国の取引所に上場(これに準ずるものを含みます)されている、クリーン・エネルギー関連企業、ウォーター・ビジネス関連企業、食糧ビジネス関連企業の株式に投資を行ない、ベンチマークの値動きに概ね連動する運用成果を目指します。</p>	
DAIM 中国関連株オープン (愛称:チャイニーズ・エンジェル)	興銀第一ライフ・アセットマネジメント株式会社
<p>主として「中国株」に投資しつつ、「中国関連株」をグローバルな視点で加えることで、中国株の成長性を享受することを目指します。</p>	
シュローダー・アジア公社債ファンド (愛称:アジア円舞曲)	シュローダー証券投信投資顧問株式会社
<p>成長著しいアジア諸国の国債・政府機関債等に加え、社債にも投資します。米ドル建て、ユーロ建て、現地通貨建債券での運用により為替からの収益機会も狙います。</p>	
GS 日本株・プラス (通貨分散コース)	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社
<p>日本の株式への投資に加え、通貨・金利取引を活用して複数の主要通貨への分散投資を行うことにより、為替の評価益および内外短期金利差に相当する収益等の獲得を追及します。</p>	
JPMジャパン・ファンド (愛称:ココロジカル)	JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社
<p>「行動ファイナンス理論」(※)を応用した計量モデルを活用して、日本の株式に投資を行います。</p> <p>(※)「行動ファイナンス理論」とは、人間の心理が投資判断や金融市場に与える影響を探求する学問です。人間は、将来が不確実な環境下では必ずしも合理的な判断をすることは限らないとの論点に立ちます。</p>	
インベスコ アジア・インフラ・ファンド	インベスコ投信投資顧問株式会社
<p>主として日本を除くアジア・太平洋諸国・地域のインフラストラクチャー関連事業(※)を営む企業が発行する株式への分散投資を行ない、投資信託財産の積極的な成長を図ることを目標とします。</p> <p>(※)当ファンドにおいて、インフラストラクチャー関連事業とは、経済インフラ、公共事業インフラ、社会インフラ、商業インフラに関わる設計、コンサルティング、開発、製造、建設、運用、保守管理、運営管理、プロジェクト・ファイナンスなどの事業をいいます。</p>	